

事務所・住居等安全点検結果

事務所・住居等の評価基準

下記の 4 段階で評価している。

- A ・ ・ 現在のままで問題ない。
- B ・ ・ 若干の改善を加えれば、現在のままでよい。
- C ・ ・ 相当の問題があり、可能であれば転居も考えた方がよい。
- D ・ ・ 改善不能の問題があり、転居することが望ましい。

1 マダガスカル事務所

[所在地] アンタナナリボ市アンドレナリボ地区

[実施日] 2007. 07. 11 17:10～18:30

[予想し得るリスク]

押し込み強盗、事務所荒らし、事務所周辺でのひったくり・路上強盗
・狂犬病

[評 価]・・・B

(1) 周辺環境

- ① 事務所は、市中心部の東南約 1.5 kmの郊外にあり、周囲一帯は住宅地域である。事務所の家屋は、丘の中腹の斜面に建っており、周辺一帯は比較的閑静な地域である。
- ② 事務所前には、幅員約 8m の舗装道路が南北に走っており、北に約 150m 進むとカジノがあり、その先を 30m 程進むと JICA 関係出張者が利用するパノラマホテルがある。
- ③ 事務所前の通りを挟んだ反対側は丘の斜面で樹木が生い茂っており、事務所裏の下り坂の通りには住宅が建ち並んでいる。
周辺一帯は、夜間人の往来は少なく注意を要する場所であり、又野良犬が多く、狂犬病を持っているので噛まれないように注意を要する。

(2) 家屋概要

- ① 家屋は、斜面に建っているブロック造りの 4 階建てで、4 階部分が道路に面しており、玄関が 4 階部分にある。
- ② 敷地の周囲は塀で囲まれており、道路側は建物部分が直接道路に面しており、建物以外の部分と敷地の左側は高さ約 1.8m の生垣であり、敷地の右側の隣家との境は高さ約 2m のレンガ塀で仕切り、下り坂に面している裏側は石垣の上にレンガ塀を設け、その上部に有刺鉄線を張っている。
- ③ 敷地の裏口は裏通り側にあり、車両出入口として使用しており、扉は南京錠付きの高さ約 2m の両開きの鉄製扉で上部に有刺鉄線を張っている。
この扉の外側の左は敷地を囲っている生垣で一部に有刺鉄線を張っているが、人目に付かずに有刺鉄線を切断して敷地内に侵入することが可能である。
- ④ 玄関は直接道路に面しており、扉は内開きの鉄格子入りのシリンダー錠付き両開きガラス扉で、内側は面付け錠と鉄製の門棒錠を 2 箇所に取り付けており、扉の上部にマグネットセンサーを取り付けている。
玄関外の左壁面には、受付席に通じるインターホーンを取り付けている。
- ⑤ 玄関扉の左に鉄製シャッター付きの車庫(1 台駐車可能)がある。その左隣に通用口があり、扉はシリンダー錠付きの鉄製扉である。この扉を入ると警備

員待機室があり、待機室の左脇に外階段が下に伸びている。

- ⑥ 玄関を入ると左側に車庫と通じる電気錠付きの鉄製扉があり、扉脇の壁面に電気錠のボタンを取り付け内側から開閉できるようにしている。ボタンの上方にはセンサーコントロールパネルを設置している。
- ⑦ 玄関を入った右側に階下に下りる階段があり、階段脇の奥に受付員席がある。受付員席の後ろは倉庫室となっており、窓には太さ 12 mm の鉄格子を取り付けている。
- ⑧ 階段を下ると 3 階で、3 階には会議室、調整員執務室、応接室、カウンセリング室、倉庫、トイレ、シャワー室、厨房があり、調整員室を除きいずれも出入口の扉は円筒錠付きの合板扉で、調整員室の扉は鎌錠付きのガラス引き戸である。
- ⑨ 会議室、調整員執務室、応接室はテラスに面しており、ガラス張りで出入口の扉は鎌錠付きのガラス引き戸であり、テラスに面した部分に鉄格子やシャッターを取り付けるなどの防護策は講じていない。
カウンセリング室及び倉庫室の窓には外側に鉄格子を取り付けており、接近不可能なトイレ、シャワー室、厨房の各窓には鉄格子を取り付けていない。厨房前の廊下の突き当たりに外に出入できる棒鍵錠付きの鉄板扉があり、内側に円棒錠を取り付けて施錠している。
- ⑩ 3 階から 2 階に下りると階段の正面がシリンダー錠とマグネットセンサー付きの両開きガラス扉で鉄格子は無く、又扉の上部はガラスの高窓である。この扉を開けて外に出ると高さ約 2m の両開き金網扉があり南京錠で施錠しているが、敷地内に侵入すれば容易に金網扉を乗り越えて上記ガラス扉に接近できる。
両開きガラス扉の左には、職員執務室の出入口があり、扉はシリンダー錠付きのガラス入り両開き扉である。
この扉を入ると執務室右奥に所長室があり、出入口の扉はシリンダー錠付きの頑丈な板扉である。執務室の左奥に円筒錠付きの扉があり、入ると倉庫室、厨房、トイレ室があり、倉庫室には窓が無く、厨房、トイレ室の窓には鉄格子を取り付けている、厨房は通信等の機械室として使用している。
職員執務室と所長室は、テラスに面しており、調整員執務室と同じようにガラス張りで出入口の扉は鎌錠付きのガラス引き戸であり、テラスに面した部分に鉄格子やシャッターを取り付けるなどの防護策は講じていない。
- ⑪ 2 階のテラスへは、敷地内に侵入すれば、車庫の屋根や 1 階テレビ会議室の窓の鉄格子を伝って容易に侵入することが出来る。
- ⑫ 1 階部分は、隊員連絡室とテレビ会議室として使用しており、屋内から一旦

裏側駐車場に出て外から出入りするようになっている。出入口の扉は、それぞれ外側がシリンダー錠付きの太さ 15 mm の鉄格子扉、内側がシリンダー錠付きの合板扉で、窓には外側に太さ 15 mm の鉄格子を取り付けている。

- ⑬ 事務所内の要所には人感センサーを取り付けている。
- ⑭ 公用車は専門家の使用車も含めて 8 台あり、裏側敷地内と 4 階の車庫に入れている。私用車は車庫が無いので玄関前の路上に駐車している。
- ⑮ 警備員は、昼夜とも 2 名で、2 交代制をとり午前 6 時と午後 4 時に交代する。

(3) 問題点と改善策

事務所敷地内への侵入は可能(裏の車庫出入口脇の生垣及び有刺鉄線の切断による侵入、右隣の隣家との境の塀を乗り越えての侵入)であることから、以下の対策が必要である

- ① 2 階 3 階のテラス側の窓及びガラス引き戸を防護するシャッター(手動式でよい)を設置する。
- ② 2 階の職員執務室脇の屋外出入口の両開きガラス扉に、頑丈な錠前(シリンダー錠か大型の南京錠)付きの鉄格子扉を取り付け、扉上部の高窓に鉄格子を取り付ける。
- ③ 警備員の管理を徹底するため、警備会社が巡回記録装置を裏庭に設置しているが、管理を会社任せにせず、抜き打ち的に警備会社の記録をチェックする。
- ④ 地方隊員とのイリジウム通話テスト結果から、事務所屋内でのイリジウム相互間の通話は不能である。

事務所の屋外にイリジウム用アンテナを設置する。

【JICA 事務所写真】



JICA 事務所全景

玄関は反対側の 4 階部分にある。1 階は隊員連絡室、TV 会議室、2 階は職員執務室、3 階は調整員執務室等、4 階は受付



事務所前通り

駐車車両の右側が事務所の 4 階で玄関がある。



事務所近くのカジノ(左側)
事務所から北方約 150m のところにある。



事務所の裏側通り
下り坂の裏道、白い両開き扉は事務所裏庭(駐車場)の出入口扉



事務所裏側の風景
奥の高い白い建物は JICA 関係者が利用するホテル・パノラマ



事務所の玄関
玄関部分は 4 階になり、玄関前には所員の私用車が常時駐車している。



事務所の裏門
坂道の左側一帯には民家が建ち並んでいる。



裏門と塀
門の扉の左側は植え込と有刺鉄線の塀で敷地内へ侵入可能である。



裏庭内

1階の窓はTV会議室の窓で格子を上って2階テラスに侵入できる。



左同

階段から車庫の屋根を伝って2階のテラスに侵入できる。



玄関の扉

シリンダー錠と電気錠付き鉄格子入りガラス扉、壁面にインターホンを設置



玄関扉の内側

左記錠前の他に面付け錠と門棒錠を取り付いている。左は電気錠付き扉の車庫出入口



4階車庫と通用口

車庫の扉は鉄板シャッター、左が通用口



通用口の内側

扉はシリンダー錠付き鉄製扉



受付席から見た玄関

左が玄関扉、奥は電気錠付き車庫出入口



玄関から見た受付席

階段は3階、2階に通じている



2階の廊下

右の扉は会議室扉、窓部分は調整員執務室、その奥は応接室



会議室

ガラス引き戸の外はテラスで、引き戸と窓部分に防護シャッター等はない。



調整員執務室

出入口扉はガラス引き戸、奥は鎌錠付きのガラス引き戸、外はテラスで防護用のシャッター等はない。



3階のトイレ

出入口扉は円筒錠付き扉で、窓には鉄格子を取り付けている。



会議室、調整員執務室、応接室のテラス側、シャッター等を取り付けるなどの防護対策は講じていない。



2階、3階部分のテラス
右の植え込みと有刺鉄線の塀から侵入すれば容易にテラスに侵入できる。



階段を下りた2階部分
正面のガラス扉は屋外への出入口扉
左の扉は職員執務室出入口扉



左同屋外出入口扉
シリンダー錠付き両開きガラス扉で
鉄格子扉は取り付けしていない。



屋外から見た上記ガラス扉と高窓
手前に金網扉があるが乗り越えること可能



ガラス扉脇の塀
隣家との境の塀で立ち木を伝って侵入可能



職員執務室
テラス側はガラス戸で、防護対策無し



執務室左奥の廊下出入口扉
奥には倉庫、トイレ、厨房がある。



厨房
右奥に通信機器があり通信機材室として使用し、窓は鉄格子付きである。



所長室出入口扉
シリンダー錠付き頑丈な板扉



所長室
窓の外はテラスで防護策を講じておらず、車庫の屋根から侵入できる。



所長室の窓と車庫の屋根
階段から屋根に上り所長室の窓のあるテラスに侵入できる。

2 隊員連絡所

[所在地] アンタナナリボ市マタザナ地区

[実施日] 2007. 07. 11 16:15～17:00

[予想し得るリスク]

押し込み強盗、空き巣、忍び込み、居空き、連絡所周辺でのひったくり・路上強盗

[評価]・・・B

(1) 周辺環境

- ① 連絡所は、マタザナ地区のマタザナコンパウンド内にある。同コンパウンドは市の東側にあり、JICA 事務所から約 800m の位置にある。周辺一帯は住宅地で、コンパウンドの近くには鉱山省ビルやフランス人学校等がある。
- ② コンパウンドの敷地はレンガ塀で囲まれており、21 棟の家屋があり、正門に警備員が配置されている。連絡所は正門を入り約 80m 進んだ突き当りの右側奥にある。コンパウンド内の家屋は平屋が多い。

(2) 家屋概要

- ① 連絡所の敷地は約 300 坪あり、周囲を高さ 1～1.5m のレンガ塀と金網塀で隣りの敷地と仕切っている。敷地の出入口門に警備員を置いている。
出入口を入ると敷地の右側が庭となっており、敷地左に縦長に家屋がある。
- ② 家屋はブロック造りトタン葺平屋で、出入口は玄関と裏口がある。玄関には太さ 12 mm の鉄格子を取り付け、錠前は主錠としてテンキ錠を取り付けている。このテンキ錠は内側がサムターン式で、手を入れてもサムターン返しが出来ないよう錠前の周囲に鉄板を張っているが、鉄板の面が狭く、サムターン回しの工具を使えば錠前を解錠できる。
鉄格子扉の内側に 2 枚ガラス引き戸がありシリンダー錠を取り付けている。
- ③ 玄関を入ると居間で、窓が 1 箇所あり、外側に太さ 12 mm の鉄格子を取り付けている。居間の左側の玄関寄りに寝室等に通じる棒鍵錠付きの合板扉があり、居間の左奥に台所に通じる棒鍵錠付きの合板扉がある。
- ④ 寝室に通じる廊下の扉を開けると、右側に手前から台所、トイレ 2 室、バス室、寝室があり、左側には手前から寝室が 2 室と療養室がある。廊下の突き当たりは両開き扉付きの貴重品入れの棚でナンバー錠で施錠している。
- ⑤ 台所の出入口扉は棒鍵錠付きの合板扉で、台所にはこの他に、前述のとおり居間と通じる扉がある。台所に裏口があり、扉は内側が鉄格子付きガラス入り板扉で棒鍵錠を取り付けているが、錠前が壊れている。この扉の外側にシリンダー錠と門錠 2 個付きの鉄板扉がある。室内に窓が 1 箇所あり、外側に太さ 12 mm の鉄格子を取り付けている。

- ⑥ トイレ、バス室の出入口扉は、いずれも合板扉で棒鍵錠を取り付けて内側から施錠出来るようにしている。室内にいずれも高窓が1箇所あり外側に太さ12mmの鉄格子を取り付けている。
- ⑦ 廊下左右の寝室及び療養室とも、出入口の扉は棒鍵錠付きの合板扉で、各室に窓が1箇所あり、いずれも外側に太さ12mmの鉄格子を取り付けている。
- ⑧ 家屋内は整理整頓されており、衛生的にも問題はない。

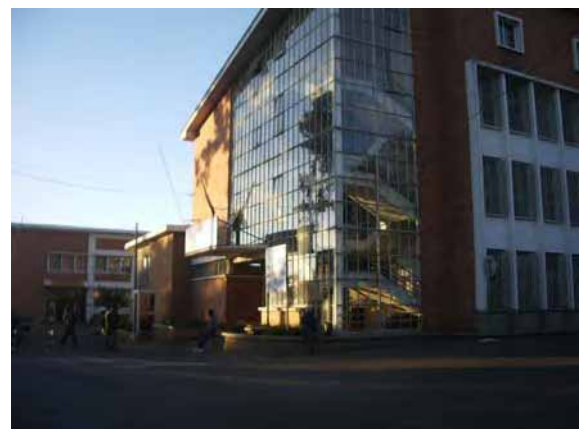
(3) 問題点と改善策

- ① 玄関に向かって右側の金網塀の一部が破損している。補修を要する。
- ② 裏口の内側鉄格子入りガラス扉の棒鍵錠が壊れている。
シリンダー錠に取り替える。
- ③ 玄関の鉄格子扉に取り付けているテンキ式錠はサムターン式であるため、鉄格子の隙間から針金等を入れて、サムターン回しの手口で解錠できる。
両面テンキ式の錠前に取り替えるか、錠前の周囲に現在取り付けている鉄板の2倍の広さの鉄板を貼り付けてサムターン回しが出来ないようにする。

【隊員連絡所写真】



隊員連絡所入居コンパウンド前通り



コンパウンド正門前の鉱山省のビル



連絡所入居のコンパウンド正門



車両の右奥に連絡所がある。



左側が隊員連絡所
茶色の鉄扉が連絡所の出入門



連絡所出入門
セフテイク社警備員を1名配置している。



隊員連絡所の家屋
家屋右奥が玄関、前は中庭



金網塀の破れている部分
玄関に向かって右側の隣家との境の
金網塀が破れている



家屋裏側
青のバケツのある部分が裏口



玄関
外側は鉄格子で囲い、扉にはテンキ式
錠前を取り付けている。



玄関
外側テンキ錠付き両開き鉄格子扉、内側シリンダー錠付き2枚ガラス引き戸



玄関扉の内側サムターン式テンキ錠
周囲に鉄板を張っているがサムターン回しの工具を使用すれば解錠できる。



居間
窓には外側に鉄格子を取り付けている。



廊下
右側が台所、バス、トイレ室、寝室、左が寝室2室と療養室がある。



台所
外側扉は鉄板扉、窓は鉄格子付き



台所の扉
内側扉の棒錠錠は壊れている。



玄関寄り寝室

出入口扉は棒鍵錠付き合板扉、窓は鉄格子付き



玄関側奥寝室

出入口扉は棒鍵錠付き合板扉、窓は鉄格子付き



療養室

出入口扉は棒鍵錠付き合板扉、窓は鉄格子付き



裏側寝室

出入口扉は棒鍵錠付き合板扉、窓は鉄格子付き



バス室

出入口扉は棒鍵錠付き合板扉、



貴重品入れ棚

ナンバー錠で施錠している。

3 タマタブ柔道隊員候補住居・・(居住初代)

[所在地] タマタブ市サラザマイ地区

[実施日] 2007.07.08 15:00～15:30

[予想し得るリスク]

押し込み強盗、空き巣、忍び込み、居空き、かっぱらい

[評価]・・・対策未実施、

(1) 住居環境

候補住居は、タマタブ港の北方約 1.5 kmの海岸沿いにあり、同住居は勤務先の同僚となる柔道家の住居で、1室を借りるホームステイの予定である。

周辺一帯は民家が密集しており、犯罪としては子供が果物を盗む程度のものであり平穏な地区である。

(2) 家屋概要

① 敷地は海岸に面しており、約 400 坪あり竹や板塀と生垣で囲われ、海岸側は庭となっている。

家屋はブロック作りトタン葺 2 階建てで、隊員は 1 階の大家の居間の隣にあるトイレ・バス付きの部屋に居住する予定である。

また、同室の隣りにある部屋(現在倉庫として使用)も含めての借用も可能である。

② 大家の玄関は海岸沿いの庭に面したところにあり、隊員の居室の玄関は、大家とは別で、大家の玄関から玄関に向かって右に伸びている庭に面した通路にある。

玄関の扉は 4 枚折畳み式のシリンダー錠付きの板扉で、古く板の部分がもろくなっており、鉄格子扉は取り付けていない。

③ 玄関を入ると居間兼寝室で窓は無く、室内にトイレ・シャワー室があるが壊れている、トイレ・シャワー室の隣に裏口があり、扉は無くカーテンを取り付けている。

④ 裏口を出ると廊下が右に伸びており、居室となる部屋の隣に倉庫として使用している部屋があり、同室も借用可能である。

この部屋の出入口扉は、シリンダー錠付きの頑丈な板扉で、室内に窓が 1 箇所あるが隙間だらけの両開き板窓で内側から門棒錠で施錠している。

(3) 問題点と改善策

居住予定室は、空き室となっていたところで、以下の改善が必要である。

① 玄関扉は 4 枚折畳み式の板扉で、もろくなっているので取替え、内側か外側に南京錠あるいはシリンダー錠付きの防虫ネット張りの鉄格子扉を取り付ける

- ② トイレ、シャワー室の隣に裏口があるが扉がない。シリンダー錠付きの頑丈な板扉を取り付ける。
- ③ 裏口を出た隣の現在倉庫室として使用している部屋を使用する場合には、この部屋の前の通路の壁面と部屋の壁との間にシリンダー錠付きの板扉を新たに取付けて裏口扉として使用する。
- ④ 上記倉庫室の出入口扉はシリンダー錠付きの板扉であるが、庭に面した板窓は隙間があり破損している。
窓を頑丈な板窓に取替え内側に門棒錠を取り付ける
- ⑤ トイレ・シャワー室を修理し使用可能にする。

【隊員住居候補物件の写真】



周辺環境

左側に隊員住居候補物件がある。突き当たりは海岸で砂浜となっている



候補物件家屋の門

門を入った右側に家屋がある。門の扉は竹造り、敷地周囲を竹塀で囲っている



候補物件家屋

左奥の扉は大家の玄関、右隣の開いている扉の部分が居室となる部屋の玄関



海岸側から見た家屋

敷地周囲は生垣と竹塀で囲っている。



玄関扉

4枚折畳み式板扉で、古くてもろい。



左同

錠前はシリンダー錠を取り付けている。



居室兼寝室

トイレ・シャワー室は壊れており、裏口に扉が無く、カーテンを使用している。



裏口を出た通路

奥の扉は大家の台所に通じる扉



借用可能な倉庫室

出入口扉はシリンダー錠付き板扉、窓は隙間だらけでもろくなっている。



倉庫室の窓の外側

手前の板窓で隙間がありもろくなっている。

4 諏訪ゆう子隊員住居・・・(居住初代)

[所在地] フルポワント市フルポワント村

[実施日] 2007.07.08 17:10～18:10

[予想し得るリスク]

押し込み強盗、空き巣、忍び込み、居空き、性的犯罪被害

[評価]・・・B

(1) 住居環境

- ① 隊員宅は、フルポワント市役所前の通りを市役所から北方に約 50m 先にあり、マリー・ローズ(タマダブ市居住のマッサージ師)一家が居住する敷地内の同師の息子の居住する家屋の半分を借りて居住している。
- ② 敷地内には中庭を囲むように 7 棟あり兄弟 3 人がそれぞれ居住(一部は借家としている)しており、住居が密集しているので、隊員はローズ・マリー家族一家に守られた状態で生活している。

(2) 家屋概要

- ① 敷地の周囲には竹杭塀を巡らしており、隊員居住の家屋は通りに接した側にあり、家屋は木造の壁、屋根ともにラミナラの葉造りの平屋で、玄関に向かって左側部分に小学校教員の息子家族(本人 26 歳、妻 30 歳、男の子 6 歳)が居住し、右側半分に隊員が居住している。
- ② 隊員居室の玄関の扉は、外側がシリンダー錠付きの両開き板扉で、内側がシリンダー錠と南京錠で施錠する太い門棒錠付きの太さ 12 mm の鉄格子扉である。
玄関を入ると居間兼寝室で裏口は無い。室内に窓が 1 箇所あり、内側が太い門錠付きの板窓で、外側に太さ 12 mm の鉄格子を取り付けている。
- ③ トイレ、シャワー室は屋外にあり、庭先約 20m のところの一族の家族が居住している家屋のすぐ裏にある。
トイレ、シャワー室は隊員とマッサージ師のマリー・ローズ(大家)の専用で、周囲を板とラミナラの葉で囲い屋根にはトタンを張った造りで、出入口の扉は内側に太い門錠を取り付けた板扉である。
- ④ 隊員は、「以前、深夜に天井からネズミが落ちてきたのでキャーと大声を出したところ、周囲の居住者が飛び出してきた。」と話しており、ファミリーで守ってくれていることに安堵している。
- ⑤ 隊員は、上記住居には、毎週木曜日から火曜日まで居住するが、水曜日は活動の都合上、住居から約 10 km 南下したところにあるアンタラタシ村の農家の一室を借りて宿泊している。

(3) 通信手段

携帯電話を常時携帯しており通信状態は良い。また、非常時用としてイリジウムを配備しているが、事務所員の携帯電話及び固定電話とは通信可能であるが、事務所内のイリジウムとの相互間の通話は不能である。

これは、事務所内で通話した場合であり、事務所に屋外アンテナを取り付ければ通話可能である。

(4) 通勤手段

ミニバスを使用しており、勤務先までは所要 15 分程で、村の出入り口で乗降している。

通常は朝 6 時ころ自宅を出て、帰宅は午後 5 時ころの日没前である。

(5) 問題点と改善策

- ① 玄関扉は、外側がシリンダー錠付きの両開き扉、内側がシリンダー錠と南京錠 2 個付きの太さ 12 mm の鉄格子扉の 2 重扉であるが、鉄格子扉の南京錠を使用していない、不測の事態をも考慮し南京錠を使用し施錠する。
- ② 居間兼寝室の鉄格子付き窓に防虫ネットを取り付ける。
- ③ 玄関及び窓にカーテンを取り付ける。(玄関のカーテン取り付けは、鉄格子扉のみ使用時に室内が丸見えとなるため)
- ④ トイレ、シャワー室は外付けで、玄関から約 20m 先の敷地内にあるため、夜間はバケツを使用している。やむを得ずトイレを夜間使用する際には、配布されている携帯アラームを携行する。
- ⑤ 非常時使用のサイレン付きメガホーンについてファミリー全員に「非常時の通報用」であることを説明しておく。
- ⑥ 活動地のアンタラタシ村は電気がなく、又携帯電話も通じない、非常時に備え、イリジウムの通話テストを行っておく。

【諏訪隊員の住居写真】



隊員宅前の通り



右の丸太で囲っている部分が大家の
マリー・ローズファミリーの居住区



隊員の住居

右側半分が隊員の居住部分、左半分は
大家の息子家族の居住部分



隊員住居の裏側

左半分の赤い窓のある部分か隊員の
居住部分



敷地内

左が隊員の住居、他は一族の住居



敷地内

隊員宅の右側部分で、敷地内には同
じような家屋が7棟ある。



隊員宅の玄関扉

外側はシリンダー錠付きの外開き板扉



玄関内側の鉄格子扉

シリンダー錠と大型の南京錠付き門錠取付け



居間兼寢室の窓
内側閉錠付きの板窓、外側鉄格子付き



居間兼寢室兼台所
隣室との境の壁はラミラナの葉の壁



ラミナラの葉の屋根
防虫用にいつも蚊帳を張っている。



トイレ・シャワー小屋
右奥の斜めの屋根の部分がトイレ・シャワー小屋



トイレ・シャワー小屋
出入口は左の緑に塗られた板部分



トイレ・シャワー小屋の出入口
内側に閉錠を取り付けている。中は清潔に保たれている。

5 竹前宏美隊員住居・・・(居住3代目、女性としては初代)

[所在地] ババテニナ市

[実施日] 2007.07.09 11:30～12:20

[予想し得るリスク]

押し込み強盗、空き巣、忍び込み、居空き、性的犯罪被害

[評価]・・・周辺環境C、ハード対策B

住居周辺には民家無く孤立した状態にあり、家屋にも防犯対策上問題があるなど、女性隊員の住居としては不適である。

安全な住居に転居を要する。

(1) 住居環境

- ① 隊員の住居は、ババテニナの街中を通っている国道22号線から南側坂道を下ったところにある文化センター前のサッカー場の反対側にある。街の中心部から住居までの距離は、直線で350m程ある。
- ② 隊員居住家屋は、サッカー場と裏の森との間に挟まれた敷地内にあり、敷地は広く木々に囲まれ中央に広場がある。サッカー場側からの道を入った左手前には市の資材置き場、広場奥の左側に隊員の住居、その右側に水関係のNGOの事務所、敷地右側には市の資材倉庫がある。
- ③ 市の資材置き場とNGO事務所は、夜間不在となることから男性警備員をそれぞれ1名配置している。隊員宅も警備員を2名雇用しており、2交代制(午前7時～午後5時と午後5時～午前7時の2交代)で、警備員はいずれも市長の紹介の高齢の男性である。

(2) 家屋概要

- ① 隊員居住家屋の左側面及び裏側に庭があり、板塀で囲い自由には出入りできないようにしているが、玄関側には塀は無い。
- ② 家屋はブロック造りトタン葺き平屋で、玄関の扉は、外側が両開き板扉、内側が鉄格子扉の2重扉である。
外側の両開き板扉は、シリンダー錠を取り付け内側に両扉の上下に差込錠を取り付けて片方を固定しているが、同扉は外開きで、蝶番は扉表面にネジで止めておりドライバーを使用して取り外すことが出来る。
内側の鉄格子扉は、太さ12mmの鉄格子扉でシリンダー錠を取り付けている。
- ③ 玄関を入ると居間で、窓が2箇所あり、いずれも外側が上下に差込錠付きの押し出し式板窓で、内側に太さ12mmの鉄格子を取り付けて防虫ネットを張っている。
居間の右奥に寝室と台所に通じる入口があり、扉は取り付けしていない。
- ④ この入口を入ると寝室で、窓が1箇所あり居間の窓と同じく外側が板窓で、

内側に鉄格子を取り付けている。

- ⑤ 寝室の左側に台所に通じる入口があり扉は取り付けていない。室内に窓が1箇所あり、寝室と同じ外側が板窓で、内側に鉄格子を取り付けている。

台所に裏口があり、扉は外側が板扉、内側が鉄格子扉の2重扉で、外側の板扉は隙間だらけで中央に門棒錠付を取り付け、門棒錠は扉に取り付けているフックに太い鎖で巻きつけ南京錠で外れないように固定している。扉の蝶番は玄関の板扉と同じネジ止めである。内側の鉄格子扉は、太さ12mmの鉄格子扉でシリンダー錠を取り付けている。

- ③ トイレ、シャワー室は外付けで、裏口を出た右側にあり、出入口扉はいずれも内側に門錠を取り付けている。夜間は使用せずバケツで用をたしている。

(3) 通信手段

- ① 無線を設置しているが、事務所との通話は可能時と不能時がある。携帯電話は良好に通話できる。
- ② 非常用としてイリジウムを配備しており、事務所員の携帯電話、固定電話とは通信可能であるが、事務所内のイリジウムとの相互間の通話は不能である。これは、事務所内で通話した場合であり、事務所に屋外アンテナを取り付ければ通話可能である。

(4) 通勤手段

勤務先は街の中心部にある診療所で、徒歩15分ほどあり徒歩で通勤している。途中危険を感じるような場所はない。

通常は朝7時半ころ自宅を出て、夕方4時半ころには帰宅している。

(5) 問題点と改善策

周辺には民家はなく、警備員を雇用しているものの、孤立した状態にあり、女性隊員であることを考慮し、より安全な住居への転居を要する。

なお、男性隊員が居住する場合には、下記の点についての改善を要する。

- ① 玄関及び外側板扉は外開きで蝶番がネジ止めであるために外すことが可能である。頭部分を潰し外せないようにする。
- ② 裏口の外側の板扉に隙間があり、又門棒のみで施錠しており、蝶番は玄関と同じネジ止めである。新しい板扉に取り替える。
- ③ 玄関及び裏口の鉄格子扉のシリンダー錠がガクガクしている。新しいシリンダー錠に取り替える。
- ④ トイレ、シャワー室は外付けであり、夜間やむを得ず使用する際には、貸与されている携帯アラームを携行する。
- ⑤ 非常時に備え、近くに居住しているマダガスカル人(フランス語教師)及び市長宅に非常時の救助をお願いしておく。

【竹前隊員の住居写真】



隊員の住居に通じる街中の道路



隊員住居前から見たサッカー場
奥の建物は文化センター、



サッカー場から通じる通路
赤い建物は NGO 事務所



隊員の住居
赤い建物の左隣の家屋が隊員の住居



住居左側面の庭を囲っている板塀
ひさし部分が玄関



家屋左側面の窓
右が居間、左が台所の窓



玄関の扉

外側はシリンダー錠と差込錠付き両開きの板扉



板扉の蝶番

板扉の表面にネジで止めている。



玄関扉の内側鉄格子扉

シリンダー錠を取り付けている。



居間の窓

外側差込錠付き板窓、内側鉄格子で防虫ネットを張っている。



居間からの寝室出入口
扉は取り付けしていない。



寝室の窓

居間と同じ板窓で内側に鉄格子付き



寝室から台所出入口
扉は取り付けていない。



台所の窓と裏口扉
窓は居間と同じ、出入口扉の内側はシ
リンダー錠付き鉄格子扉



上記台所の裏口扉
外側は隙間だらけの片開き板扉で中
央部分に門棒をはめ込み鎖を巻き南
京錠で施錠している



外付けのトイレとシャワー室
左がシャワー室、右がトイレ室
いずれも内側に門錠を取り付けている。



無線の通信テストの状況



イリジウムの通信テストの状況

6 ムラマンガ派遣隊員候補住居・・・(居住初代)

[所在地] ムラマンガ市青年の家前

[実施日] 2007.07.10 18:20～19:05

[予想し得るリスク]

押し込み強盗、空き巣、忍び込み、居空き、かつぱらい、住居周辺でのすり・ひったくり

[評価]・・・対策未実施

(1) 住居環境

- ① 候補家屋は市の中心部にある市職員住宅地内にある。周囲は住宅と商店等が混在している地区で、隊員予定住居の通りを挟んだ前には勤務先となるスポーツ省所属の「青年の家」がある。
- ② 候補家屋周辺は、商店や露店が多く人混みの場所であり、すり、ひったくりに注意を要するが、他に大きな問題点はない。

(2) 家屋概要

- ① 家屋は古い建物で、敷地周囲は、通り側が下部ブロック、上部板の高さ約1.8mの塀、裏側及び側面が板塀で囲っているが、破損しており完全な塀とはなっておらず敷地内への侵入は容易である。
- ② 家屋はブロック造りトタン葺平屋で、間取りは部屋が4室、台所、シャワー室でトイレは外付けである。
出入口扉や窓は木製であるが破損している部分が多く、大掛かりな補修が必要である。
- ③ 現在、市の職員1人が家屋の一部に居住しており、近く移転するのでその後に改修する予定である。

なお、見分は日没後で家屋内に電灯は無く、詳細な見分は不可能であった。

(3) 通信手段

携帯電話を所持することとなるが、通話状態は良好である。

(4) 通勤手段

住居の前の「青年の家」が勤務先であり問題はない。

(5) 問題点と改善策

- ① 塀の一部が壊れているので補修する。
- ② 出入口として使用する裏口扉は、閉まりが悪く錠前もぐらついている。
シリンダー錠と内鍵(太い差込錠等)付きの頑丈な板扉に取り替え、内側に南京錠付きの鉄格子扉を設置する。
- ③ 板窓が古くもろくなっている。差込錠と門棒状付きの頑丈な板窓に取替え、窓の内側に防虫用の網戸を取り付ける。

【候補家屋の写真】



候補物件前通り
車の左側部分が候補物件家屋の塀



候補物件前の青年の家
隊員の勤務先となる。



候補物件家屋の玄関側
右の板門戸は閉鎖している。



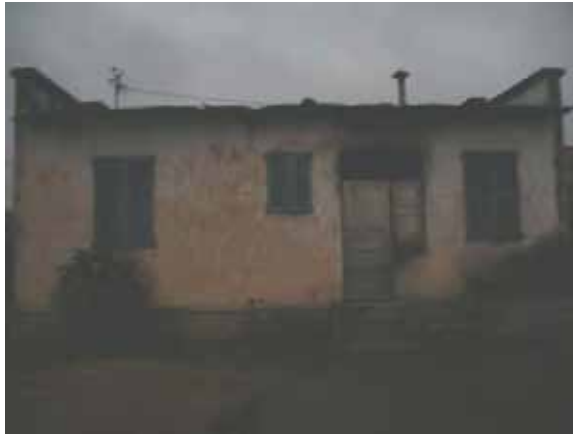
候補物件の玄関側



玄関側扉
扉を閉鎖し出入口は裏口を使用する。



家屋の側面



家屋の裏側

裏口を出入口として使用する。



裏口の扉

シリンダー錠を取り付けているが、閉まりが悪い。



台所

奥の扉は部屋に通じる扉で古くもろくなっている。



部屋

窓が1箇所あるが板窓でもろくなっている。同じような部屋が4室ある。



窓の内側

差込錠付き板窓で、もろく破損している。



窓の外側

鉄格子は取り付けしていない。

7 海老原フィールド調整員住居・・(居住初代)

[所在地] ムラマンガ市国道 44 号線沿い

[実施日] 2007. 07. 11 8:00～8:30

[予想し得るリスク]

押し込み強盗、空き巣、忍び込み、居空き、性的犯罪被害

[評 価]・・・Aに近いB

(1) 住居環境

住居は市の中心部から北方約 2 kmの国道 44 号線沿いにあり、周辺一帯は住宅地であり、国道沿いには平屋や 2 階建ての家屋が建ち並んでおり、環境的には問題はない。

(2) 家屋概要

- ① 敷地の周囲は、高さ約 2m の板塀で囲い、出入門は両開きの上部鉄柵の鉄製扉で差込錠と南京錠で施錠できるようにしている。
- ② 敷地は約 200 坪あり、門を入った右側にメイド用の平屋の家屋と、調整員居住のピンク色のブロック造り 2 階建て家屋が並んで建っている。
- ③ 調整員宅の玄関は家屋の中央部にあり、扉は外側がシリンダー錠と片側差込錠付きの両開きの板扉で、内側が棒鍵錠付きの上部ガラス入りの板扉である。玄関を入ると居間で室内に窓が 2 箇所あり、いずれも外側が差込錠付きの両開き板窓で、内側が差込錠付きのガラス窓である。
- ④ 居間の右側に、台所とトイレ・シャワー室の出入口扉があり、いずれも棒鍵錠付きの板扉である。台所に窓は無く裏口があり、扉はシリンダー錠付きの板扉である。トイレ・シャワー室に高窓が 2 箇所あり鉄格子付きのルーバー窓である。
- ④ 2 階へは 1 階から一旦外に出て、メイド居住の家屋側にある外階段を使用して 2 階に上り、2 階には 2 室とバス・トイレ室がある。
- ⑤ 階段を上るとテラスで、出入口扉が 2 箇所あり、階段寄りにある扉は倉庫として使用している部屋の扉で、他の 1 つはバス・トイレ室前の廊下に出入りする扉である。両扉ともシリンダー錠と片側差込錠付きの板扉である。
- ⑥ 倉庫として使用している部屋に窓が 2 箇所あり、いずれも外側に鉄格子付きのガラス窓である。倉庫からバス・トイレ室前の廊下に通じるシリンダー錠付きの板扉があり、廊下の奥には寝室出入口の板扉がある
- ⑦ バス・トイレ室の出入口扉は、シリンダー錠付きの板扉で、室内にルーバー窓が 1 箇所あるが鉄格子は取り付けていな。この窓には地上から配管が伸びており配管を伝って接近できる。
- ⑧ 寝室の出入口扉はシリンダー錠付きの板扉で、室内に窓が 2 箇所あり、テラ

ス側の窓は外側が差込錠付き両開き板窓、内側が差込錠付きのガラス窓で、裏側の窓は外側に鉄格子付きのガラス窓である。窓にはそれぞれ薄いカーテンを取り付けている。

(3) 通信手段

携帯電話とイリジウムが貸与されている。通信状態は良好である。

(4) 通勤手段

活動用の車両がなく、バスやレンタカーを使用しており、活動用の車両の配備を要望している。

(5) 問題点と改善策

- ① 1階シャワー室の高窓は外階段から室内が見えるのでカーテンを取り付ける。
- ② 2階バス・トイレ室のルーバー式高窓に鉄格子が無く、この窓には地上から伸びている配管を伝って窓に接近できるので、窓に鉄格子を取り付ける。
- ③ 2階のテラス出入口扉は、シリンダー錠付きの板扉のみであり、可能であれば、1階の玄関扉と同じように内側に錠前付きのガラス入り扉を取り付ける。

【海老原フィールド調整員の住居写真】



調整員宅前の国道 44 号線



左同



調整員の居住家屋(ピンク色家屋)



メイド居住の家屋



家屋全景

手前の平屋はメイド居住家屋、2階へはメイド居住家屋との間の外階段使用



玄関側

中央が玄関で外側板扉、内側ガラス入り板扉、右は台所の裏口板扉



玄関扉と居間の窓

玄関扉は外側シリンダー錠と差込錠付き板扉、内側棒鍵錠と差込錠付きガラス扉



居間の窓

外側は差込錠付き両開き板窓、内側は差込錠付きガラス窓



台所

室内に窓は無い。



1階のトイレ・シャワー室

高窓の外階段からシャワー室内が見える。



2階のテラスと出入口扉
手前は倉庫室、奥はバス・トイレ前
廊下出入口のシリンダー錠付き扉



倉庫室扉の内側
両開き板扉のみで片側を差込錠で固定
している。



寝室側から見た廊下
奥は倉庫室、左はバス・トイレ室



バス・トイレ室の出入口
扉は内開きシリンダー錠付き板扉



バス・トイレ室
高窓はルーバー窓で外側に地上から伸
びている配管があり伝って接近できる。



寝室の裏側窓
外側に鉄格子付を取り付けている。

8 サンバイナ派遣農業隊員候補住居・・（居住初代）

[所在地] サンバイナ村国道 2 号線沿い

[実施日] 2007. 07. 11 10:00～10:30

[予想し得るリスク]

押し込み強盗、空き巣、忍び込み、居空き、かっぱらい

[評 価]・・・B

(1) 住居環境

候補住居は、サンバイナ村の国道 2 号線に並列して走っている鉄道線路を横切って細い道を約 50m 進んだところにある。

周辺一帯は水田や畑で、その中に農家が点在している農村地区で環境的には問題はない。

(2) 家屋概要

① 候補住居は、村の農業普及会の会長宅でホームステイの予定である。会長宅の家族は会長夫婦と 20 歳と 16 歳の息子の 4 人である。

家屋はブロック造りトタン葺 2 階建てで、隊員は 1 階部分の 1 室を借用して居住し、会長家族は 2 階部分に居住することとなる。

② 敷地は約 700 坪あり、道路側と家屋の正面側には高さ約 1.8m の杭柵を設けているが、裏側及び畑側には柵はなく自由に入出入り出来る。道路側の扉の無い門を入ると納屋と母屋が並んで建っている。

③ 母屋の玄関は、家屋の中央にあり、玄関の扉は両開きのシリンダー錠付きの板扉で、片方の扉の上下に太い差込錠を取り付けている。玄関を入ると正面に 2 階に通じる階段がある。

④ 玄関を入った右側には台所があり、出入口に扉はない。室内に窓が 3 箇所あり、いずれも両開きの板窓で片側を差込錠で施錠し、更に扉の面 4 箇所に取り付けたフックに門棒をはめ込んで施錠している。

④ 玄関を入った左側の部屋は現在居間として使用しており、隊員の居室となる部屋である。出入口の扉は錠前無しの厚い板扉で歪んでおり閉めることが出来ない。室内には窓が 3 箇所あり、いずれも台所の窓と同じく両開きの板窓で、差込錠と太い門棒で施錠できるようになっている。

⑤ トイレは、敷地を出た 10m 程のところにある外付けで、シャワー室は母屋の隣の納屋に設置するとのことである。

⑥ 電気は無くローソクを使用しているが、水は水道水を使用している。

(3) 通信手段

○ 携帯電話は良好に通じる。

(4) 通勤手段

自宅を拠点として活動する予定である。

(5) 問題点と改善策

- ① 隊員の居室となる部屋の出入口の歪んでいる扉をシリンダー錠付きの頑丈な板扉に取替え内側に内鍵として面付け錠を取り付ける。
- ② トイレは外付けであることから、夜間はバケツ等を用意し使用する。
- ③ 納屋に設置するシャワー室の出入口扉には内側から施錠できる錠前を取り付ける。
- ③ 電気が入っておらず、周辺一帯は、夜間暗闇となるので夜間の外出は避ける。

【候補家屋の写真】



周辺の農村風景

線路と平行して国道2号線が走っている。



候補家屋前の風景

周辺は畑で家屋が点在している。



候補家屋近くでの作業風景



ホームステイ候補家屋

右の茶色の家屋は納屋、奥の水色の家屋が母屋



候補家屋
杭柵門から母屋に通じる通路



母屋と納屋
水色の家屋が母屋の玄関側、茶色の家屋は納屋



母屋の裏側
塀は無く自由に敷地内に入れる。



母屋と納屋の間
納屋の奥の扉部分がシャワー室に予定



玄関の扉
シリンダー錠付きの両開き板扉で片側に差込錠を取り付けている。



2階に通じる階段
左側が隊員の居室予定の出入口、右台所出入口



台所

出入口に扉は無い。窓は両開き板窓が3箇所ある。



隊員居室予定の出入口扉

板扉が歪んでおり閉まらない。



上記隊員居室予定の出入口扉の内側
部屋は現在居間として使用している。



隊員居室予定の部屋の窓
3箇所あり、両開きの板窓



上記板窓

片側を差込錠で施錠し、両板窓に取り付けているフックに門棒をはめ込み施錠する。



板窓を外に開いた状態

9 菅原耕太隊員宅(マンドウトウ)・・・(居住3代目)

[所在地] マンドウトウ市の市役所裏

[実施日] 2007.07.12 13:00～13:50

[予想し得るリスク]

押し込み強盗、空き巣、忍び込み、居空き、かっぱらい

[評価]・・・A

(1) 住居環境

隊員は、勤務先のマンドウトウ市役所敷地内の市役所裏に居住している。

敷地内にはバスケットコート、サッカーグラウンド、広場があり、広場では毎週水曜日に公設市場が開かれる。

(2) 家屋概要

- ① 隊員の住居は、市役所の真裏約15mのところであり、敷地は約50坪で周囲には竹塀を巡らしている。門戸はなく自由に入出りできる。
- ② 家屋はブロック造りトタン葺平屋で、出入口は玄関と台所の裏口の2箇所あり、いずれも外側は両開き板扉で、ドアチェーン付きシリンダ錠と上下に頑丈な差込錠を取り付け、内側は南京錠付きの太さ15mmの鉄格子扉である。
- ③ 間取りは玄関を入ると居間兼寝室で、その左隣に台所があり、いずれも窓が1箇所あり、差込錠付きの両開き板窓で、外側に太さ15mmの鉄格子を取り付けている。
- ④ トイレは敷地の外約30mのところであり、シャワーは敷地内の一角にシートを張って使用している。

(3) 通信手段

- ① 電気がないことから、ソーラーパネルを取り付け、室内の電灯と無線電源、イリジウム及び携帯電話の充電用電源に使用している。
- ② 無線は事務所との通話は不良であるが、隊員宅から約70km北東のスアビンドリナに居住している仁木隊員との通話は可能である。
- ③ 携帯電話は通話不能である。イリジウムは電波状態が悪いため、屋外アンテナを屋根の上に取り付けており、事務所員の携帯電話及び固定電話とは通信可能であるが、事務所内のイリジウムとの相互間の通話は不能である

(4) 通勤手段

配属先は自宅前の市役所であり、通勤上の問題はない。

(5) 問題点と改善策

家屋の防犯対策はほぼ完全にとられているが、トイレ、シャワー室が屋内に設置してあればより望ましい。

【菅原隊員の住居写真】



マンドウトウの市役所前通り
右の白い建物が市役所



市役所
市役所の裏に隊員の住居がある。



市役所裏から見た隊員の住居
後ろはサッカーグラウンドと広場



隊員住居の玄関側
敷地周囲を竹塀で囲んでいる。



住居の側面
家屋の右はバスケットコート



玄関と裏口
手前が玄関の扉、奥が裏口の扉
いずれも外側板扉、内側鉄格子扉



玄関の扉

外側がシリンダー錠と太い差込錠付きの板扉、内側がシリンダー錠付き鉄格子扉



台所の裏口扉

外側がシリンダー錠と太い差込錠付きの板扉、内側がシリンダー錠付き鉄格子扉



窓

内側が差込錠付き板窓、外側に鉄格子付き



ソーラーパネルとイリジウムアンテナ



イリジウムの通話テスト状況

屋外アンテナを取り付けているので屋内でも通話可能である。



電灯

ソーラーパネルの電源を使用している。

10 石田あおい隊員住居・・・(居住初代)

[所在地] アンチラベ市イブリ地区

[実施日] 2007.07.12 16:30～17:15

[予想し得るリスク]

押し込み強盗、空き巣、忍び込み、居空き、性的犯罪被害

[評価]・・・Aに近いB

(1) 住居環境

- ① 隊員は、アンチラベの中心部から北方に約3kmの国道7号線沿いにあるアバナホテル脇から路地を約100m入ったところにあるアパートに居住している。
- ② 周辺一帯は住宅街で民家が建ち並んでいる。夜間は国道沿いには街路灯があるが、路地を入ったアパート周辺一帯には防犯灯は無く暗闇となる。

(2) 家屋概要

- ① 隊員居住のアパートは、ブロック造りトタン葺き3階建の3世帯居住用で、敷地は約300坪あり周囲を高さ約1.8mのレンガ塀で囲っており、門は鉄板の両開き車両出入り用と片開きの通用門があるが施錠はしていない。
敷地内の門側には、隊員居住の家屋に接するようにして家屋を建築中である。
- ② 隊員はアパートの3階に居住しており、1階には、5歳(男)の子持ちのマダガスカル人夫妻が、2階には30歳後半のマダガスカル人女性とメイドが居住している。
- ③ アパートの玄関は、1階居住者用と2・3階居住者用に別れており、2・3階居住者用の玄関は家屋に向かって左端に突き出たところにあり、扉はシリンダー錠付きの両開き板扉である。玄関内に隊員使用の自転車を入れている。階段は急な階段である。
- ④ 隊員の居室する3階部分は、階段を上りきったところに南京錠付きの鉄格子扉を取り付けた鉄格子柵を設けて侵入を防いでいる。
- ⑤ 外部出入口は、上記鉄格子付き鉄柵で囲われた玄関、居間からのテラス出入口、トイレ・シャワー室からのテラス出入口の3箇所ある。玄関扉は、シリンダー錠と門錠付きの頑丈な板扉で、居間とトイレ・シャワー室のテラス出入口の扉は、いずれも外側がシリンダー錠と上下に太さ10mmの差込錠を取り付けた両開き板扉、内側が差込錠を取り付けたガラス扉の2重扉である。
- ⑥ 窓は屋内に7箇所あり、寝室と居間のテラス側窓を除き他の窓には太さ8mmの鉄格子を取り付けている。寝室と居間のテラス側窓は内側がガラス窓で外側は寝室が両開き、居間が3枚式外開き板窓で、いずれも差込錠で施錠している。居間の3枚式板窓の差込錠は太さ8mmの差込錠で受けの部分が浅く機能していない。

⑥ テラスは新築中の家屋と接しており、新築中の家屋から跨いでテラスへ侵入できる。

(3) 通信手段

携帯電話を貸与されており、又固定電話も設置している。いずれも通話状態は良好である。

(4) 通勤手段

通勤には自転車を使用しており、勤務先は自転車で15分程のところであり、通常は朝6時ころ自宅を出で、夕方4時半ころには帰宅している。

通勤途上に危険と言われているところはない。

(5) 問題点と改善策

安全対策はほぼ万全に講じられているが、アパートに接して家屋を新築中であり、この家屋は隊員宅のテラスと1m程しか離れておらず、隊員宅のテラスへの侵入が可能であることから次の点の改善を要する。

- ① 居間の3枚式外開き板窓の差込錠が完全に機能していないので、現在の8mmの差込錠の全てを頑丈な太さ10mmの差込錠に取り替える
- ② 寝室のテラス側の両開き板窓の差込錠も居間と同様に、頑丈な太さ10mmの差込錠に取り替える。
- ③ 寝室の出入口扉の内側に内鍵として面付け錠を取り付ける。
- ④ 周辺一帯は夜間暗闇となるので夜間の外出は避け、やむを得ず外出あるいは帰宅が遅くなる場合は必ず携帯アラームを所持する。
- ⑤ 交通量の多い国道を自転車で通勤しているので、交通事故防止に配慮する。

【石田隊員の住居写真】



隊員居住のアパート
隊員は3階部分に居住している。



アパートの出入門
シリンダー錠付き鉄製扉を取り付け、
しているが、通用門は施錠していない。



アパートの裏側
レンガ塀を張り巡らしている。



アパートと新築の家屋
両建物の間隔は約1mである。



2階3階居住者用の玄関
3階に居住している隊員はでっぱり部分の玄関を使用している。



玄関内に保管の自転車
隊員は常に玄関内に入れて管理している。扉は出入りの都度施錠している。



居室出入口前の扉付き鉄柵
階段を上ったところに取り付けている。
手前の扉は居室玄関のシリンダー錠付き扉



玄関ホール
窓は鉄格子付き、右に居間等に通じている扉がある。



正面が寝室出入口の扉、左が居間の出入口



寝室出入口扉の内側
シリンダー錠を取り付けている。



寝室の窓
外側が差込錠付き板窓、内側が差込錠付きガラス窓



居間
左の窓は鉄格子付き、右奥の部屋は倉庫室、右のガラス扉はテラス出入口扉



倉庫室
窓は外側に鉄格子付き



居間のテラス出入口扉
外側はシリンダー錠と差込錠付きの両開き板扉、内側は差込錠付きガラス扉



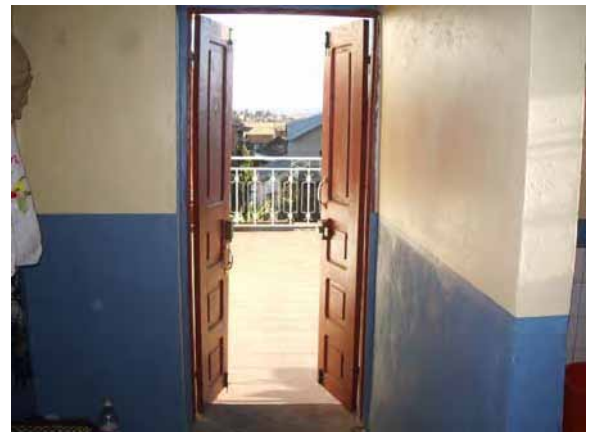
居間の窓とトイレ・シャワー室扉
窓は3枚式の外側が板窓、内側がガラス窓である。



左同居間の窓
外側が3枚式の差込錠付き板窓で差込錠が細く更に差込部分が浅いため機能していない。



トイレ・シャワー室
出入口扉は錠前無しの板扉
高窓には鉄格子を取り付けている。



トイレ・シャワー室の扉
テラスへの出入口扉でシリンダー錠と
差込錠付きの扉



テラスから見た居間の窓
左扉はトイレ・シャワー室の出入口扉



テラスと新築中の家屋の間隔
接近しており飛び移ることが出来る。

11 三浦昭子隊員住居・・・(居住初代)

[所在地] アンチラベ市イブリ地区

[実施日] 2007.07.13 8:00～8:35

[予想し得るリスク]

押し込み強盗、空き巣、忍び込み、居空き、性的犯罪被害

[評価]・・・B

(不在のため家屋内は見分できず外部から見分した評価である。)

(1) 住居環境

- ① 隊員は、市の中心部にある市役所から1km程西方のイブリ地区の住宅地にあるアパートに居住している。
- ② アパートは2棟あり、国道34号線沿いにある大家経営の小さなレストランの裏側にある。敷地の周囲は、レストランに向かって左側はレンガ塀、裏側及び右側は板塀で、右側の自動車修理工場との境の板塀には板扉を取り付けて裏道から自由に出入り出来ようにしている。
- ③ 隊員はレストラン左側の鉄扉門から出入りしており、出入りの都度施錠している。他の住民は自動車修理工場との間の板扉の出入口を使用している。

(2) 家屋の概要

- ① 家屋はブロック造りトタン葺3階建てで、隣の3階建てアパートと接している。隊員は2階、3階部分を使用しており、出入口は1階とは別で独立している。
- ② 玄関に通じる階段を上ったところに南京錠付きの鉄格子扉を取り付けており、玄関の扉は棒鍵錠付きの板扉である。
- ③ 2階部分のテラスの出入口扉は、鉄格子付きのガラス入り扉で、窓には鉄格子を取り付けているが、3階部分のテラス出入口には鉄格子扉がなく、又窓にも鉄格子は取り付けしていない。
- ④ 隊員居住の2階及び3階のテラスには、隣のアパートが接しており、壁面に取り付けられている鉄の配管を伝って侵入可能であり、又同アパートの屋根からも侵入可能である。

(3) 通信手段

携帯電話を所持しており通話は可能である。

(4) 通勤手段

面接できず聴取できなかった。

(5) 問題点と改善策

隊員居住の3階テラス出入口扉及び窓に鉄格子は無く、隣の接しているアパートの鉄の配管を伝ってテラス内に侵入できる。又このテラスから猫渡りが

寝室のテラスに伸びており寝室のテラスにも侵入可能であることから、次の点について改善を要する。

- ① 3階テラス出入口のガラス入り板扉に鉄格子を取り付ける。
- ② 寝室のテラス出入口のガラス入り板扉に鉄格子を取り付ける。
- ③ 寝室の小窓に鉄格子を取り付ける。
- ④ 寝室出入口扉に内鍵を取り付けていなければ、新たに内鍵(面付け錠)を取り付ける。

【三浦隊員の住居写真】



アパート前の通り

交通量は多く、通り沿いは商店と住宅が混在している。



大家経営のレストラン

左の鉄扉は隊員が出入りする門の扉扉は出入りの都度施錠している。



隊員居住のアパート

隊員は2階3階を借用している。



自動車工場に通じる裏口

隊員以外のアパート住民は裏口を使用している。



隊員住居の玄関側
階段を上ったところに鉄板扉を設置している。玄関扉は棒鍵錠付き板扉



玄関の扉
棒鍵錠を取り付けている。



隣のアパートと接している
隣のアパートの鉄の配管が2・3階のテラスに接しており伝って侵入できる。



左同
2階テラスの扉は鉄格子付きであるが、3階の扉は鉄格子を取り付けていない。



3階のテラスは猫渡りで繋がっている。



高窓部分にも接近できる。

12 JICA 事務所移転候補物件

[所在地] アンタナナリボ市アンタニメナ地区

[実施日] 2007. 07. 13 16:45～17:00

[予想し得るリスク]

押し込み強盗、事務所荒らし、事務所周辺でのひったくり・路上強盗

[評 価]・・・具体的な入居室等不明で評価不能

但し、周辺環境としては、候補ビル前の交通量の多いことを除き大きな問題点は見当たらない。(犯罪発生状況は未確認)

(1) 周辺環境

- ① 候補物件は、アンタナナリボ駅の北側のアンタニメナ地区にあり、周辺一帯はオフィスビルや商店、住宅等が混在しており、比較的繁華な地区で交通量も多い。当地区内には米国文化センター等がある。
- ② 候補物件の前通りは、車道幅員約 6m、両側に幅員約 2m の歩道がある道路で、ビルに向かって左側が上り坂となっている。本通りは人や車の流れが非常に多く、容易には横断できない。
交通量が多いことを除き、周辺環境に大きな問題点は見当たらない。
なお、現在の事務所に比べて利便性は高い。

(2) 家屋の概要

- ① 候補物件は 7 階建てのビルで、現在 4 階まで完成しており、1 階部分は洋品店等が入居している。2 階以上がオフィスとなっており、オフィス用の玄関は 1 階の商店部分とは別で、通りから階段を十数段上ったところにある。
- ② ビル内に入ると玄関ホールがあり左右に廊下が伸びており、通りに面した側には会社等の事務所が並んでいる。
ビル内を警備員が巡回しており、安全対策上大きな問題は無いように認められる。
- ③ 駐車場は、ビルの裏側にありかなり広く駐車自体の問題は無いが、駐車場からビル前の交通量の多い通りに入る際、警備員が配置されているものの交通量が多いため出ずらく、事故防止に十分なる配慮が必要である。

(3) 所見

今回は候補物件の周辺環境調査と候補ビルの外観調査に限られ、ビルの構造上の問題と具体的な対策については把握するに至っていない。今後以下の点について調査することを要する

- ① 周辺の犯罪発生実態の調査
- ② ビルの入居テナントの調査
- ③ ビル自体の管理状況と安全対策面

- ④ 入居室の造りと事務所設置の適否
- ⑤ 事務所設置に要する必要な安全対策事項

【候補物件の写真】



候補物件周辺の環境

オフィスビル、商店、住宅等が混在している。



候補物件のビル

7階建てのビルで4階まで完成している



ビル玄関前の通りと交通量

駐車場出入口は左奥のビル前の看板付近



オフィス部分の玄関

1階部分は商店が入居、2階以上がオフィス



ビル2階部分、会社等の事務所が並んでいる。



ビル裏の駐車場

JICA安全対策協議会出席者リスト

2007.7.14

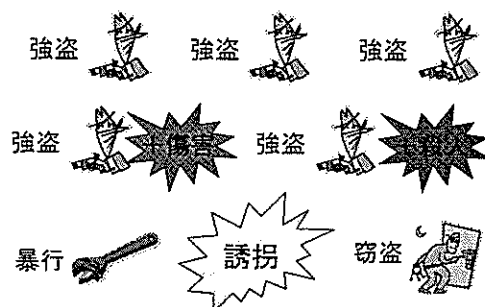
JICAマダガスカル事務所

			出欠		
ゲストスピーカー	1	河上 隆史	KAWAKAMI Takafumi	○	日本大使館 領事
	2	鈴木 宏	SUZUKI Hiroshi	○	JICA本部 安全対策アドバイザー
JICA事務所	3	外川 徹	TOGAWA Toru	○	事務所長
	4	麻野 篤	ASANO Atsushi	○	事務所次長
	5	櫛田 眞美	KUSHIDA Mami	○	事務所員
	6	神津 宗之	KOZU Muneyuki	○	企画調査員
	7	田澤 大樹	TAZAWA Hiroki	○	企画調査員
	8	細田 悦子	HOSODA Etsuko	○	ボランティア調整員
	9	柴山 良春	SHIBAYAMA Yoshiharu	○	フィールド調整員
	10	海老原 知子	EBIHARA Tomoko	○	フィールド調整員
	11	矢野 美子	YANO Yoshiko	○	フィールド調整員
	12	Haja RAJAABELINA		○	ナショナルスタッフ
専門家	13	月井 芳文	TSUKII Yoshifumi	○	農業アドバイザー
	14	神田 弘恭	KANDA Hiroyasu	×	経済開発顧問
	15	松井 三明	MATSUI Mitsuoaki	○	母子保健プロジェクトチーフ
JOCV	16	仁木 久仁子	NIKI Kumiko	○	17-2 青少年活動
	17	宮守 由紀	MIYAMORI Yuki	○	17-3 保健師
	18	石田 あおい	ISHIDA Aoi	○	17-3 婦人子供服
	19	櫻井 恵子	SAKURAI Keiko	○	17-3 養殖
	20	久保 智嗣	KUBO Tomoji	○	17-3 村落開発普及員
	21	川崎 武彦	KAWASAKI Takehiko	○	18-1前 野菜
	22	高橋 樹	TAKAHASHI Miki	○	18-1後 食用作物・稲作
	23	長塚 未来	NAGATSUKA Miki	○	18-1後 青少年活動
	24	内田 麻美	UCHIDA Asami	○	18-1後 村落開発普及員
	25	一戸 由希子	ICHINOHE Yukiko	○	18-1後 看護師
	26	諏訪 ゆう子	SUWA Yuko	○	18-1後 村落開発普及員
	27	小野 佳恵	ONO Yoshie	○	18-1後 看護師
	28	三浦 昭子	MIURA Akiko	○	18-1後 看護師
	29	菅原 耕太	SUGAWARA Kota	○	18-2 村落開発普及員
	30	城野 富美子	SHIRONO Fumiko	○	18-2 養護
	31	磯部 和彦	ISOBE Kazuhiko	○	18-3 木工
	32	栗田 典和	KURITA Norikazu	○	18-3 行政サービス
	33	井上 真理子	INOUE Mariko	○	18-3 視聴覚教育
	34	今野 美保	KONNO Miho	○	18-3 エイズ対策
	35	竹前 宏美	TAKEMAE Hiromi	○	18-3 看護師
36	長谷川 麻里子	HASEGAWA Mariko	○	18-3 家政	
37	神田 千鶴	KODA Chizuru	○	19-1 食用作物・稲作	
38	國芳 愛子	KUNIYOSHI Aiko	○	19-1 エイズ対策	
39	杉山 由実子	SUGIYAMA Yumiko	○	19-1 青少年活動	
40	木村 留衣子	KIMURA Ruiko	○	19-1 行政サービス	
41	望月 菜穂	MOCHIZUKI Naho	○	19-1 エイズ対策	
その他関係者	42	笠井 いつみ	KASAI Izumi	○	JICS
	43	原田 新二	HARADA Shinji	○	大豊建設
	44	桜井 徳次郎	SAKURAI Tokujiro	○	大豊建設

安全対策連絡協議会

平成19年7月14日
在マダガスカル日本国大使館

最近の一般犯罪



結局

金品目当て

現金、宝石・貴金属類、携帯電話、デジタルカメラ、
パソコン、カーステレオ などなど

今日のキーワード



強盗事件 — 最近のトレンド

・商店
ガソリンスタンド
民家への押し入り
路上強盗
タクシー
山賊



意外と少ない銀行強盗

比較的警備が厳重
周到的な準備・計画が必要
犯人はソフトターゲットを好む

最近の犯罪(新聞に掲載)

- 6月1日 アンタナナリボ東部 武装強盗・車及び現金(1300万AR)
- 6月3日 アンタナナリボ(クリニックデスール近く) 誘拐
- 6月5日 アナラケリー タクシー強盗
- 6月7日 アンバハバオ(空港近く) 武装強盗15人
- 6月8日 イソラカ (大使館近く) 売春婦による盗難
- 6月13日 タマタブ 脱走
- 6月18日 アンタナナリボ(クリニックデスール近く) ひったくり
- 7月6日 ペオリリカ 4人の強盗団と警察で銃撃戦
- 7月12日 イスーチ 建材販売店強盗殺人(銃撃)



7月12日 67ha 小売店 強盗殺人



山賊発生状況

国道7号線及び34号線(アンチラベ周辺)3件

国道7号線(アンブシチャ付近)1件

国道7号線(イサロ付近)1件(15名のフランス人グループが日中に被害)

国道7号線(サカラハ付近)2件

西海岸付近全般は夜間、山賊が多数発生
フィアナランツァ〜チュリアル間において、観光客を狙うグループがあるため、ジャンダルムリは警戒中

山賊?



鉄砲?



アンタナナリボ警察署長より

現在マダガスカルでは密造拳銃が激増中である。
密造場所は主にアンバトランピー・アリボニマモであるがこの地域はフライパン等、食器の生産地であり、検挙してもきりがない。
この拳銃が闇市にながれている状況(8万~30万AR)

日本人の皆様へのアドバイス

- 夜遊びの単独行動はしない。(タクシーの一人乗りも危険)
- 安全なレストランか?(警備員はいるか?警察署は近くにあるか?)
- 貴金属を身につけていないか?
- 歩きながら電話をかけていないか?
- 駐車中の自動車に貴重品を置いていないか?
- 注意することを忘れてないか?(家に帰ったからといって油断してないか?)

犯罪被害を避ける心構え



常に狙われている

自分は無関係と考える

現地の人のアドバイスを守る
郷に入れば郷に従え!

情報の入手に努める

犯罪被害回避の方法

- 目立たない
- 夜間は極力外出しない。する場合には複数で。
- 道路を歩く場合、車道に近ければ引つたりの危険増
- 信号待ちの際は、車道直前で待たない。
- 他の通行人と間隔をあけるようにする
- 車での移動時、前車との車間距離を考慮する

誘拐、強姦、強盗、窃盗の防止に効果

犯罪被害回避の方法

- 常に自分の周囲の状況に気を配る
- 貴重品の入った鞆は常に目の届くところに
- 荷物は常に身体に触れているようにする。
- 自分から人ごみに近づかない
- 貴重品は分散して所持
- 他人の親切は本物か？
- 見知らぬ人から荷物を預からない

強姦強盗、麻薬犯罪、窃盗、スリ、引つたり等
一般犯罪被害の防止に効果

犯罪被害回避の方法

- 日常の行動パターンに変化をつける
- 不審な人物の訪問や電話には注意し、不用意に家族の情報を与えない
- 使用人からの情報漏洩にも注意
- 来訪者があっても不用意にドアを開けない。

誘拐、強姦、強盗、窃盗の防止に効果

犯罪被害回避の方法

- タクシー乗車中は、便乗者を乗せない
- 夜間走行のタクシーブレードには乗らない

それでも回避できなかつたら

絶対に抵抗しない！！

命がればなんとかなるさ！

2007. 07. 14

マダガスカル 安全対策セミナー

「よりよい明日を、世界の人々と」
&
「命こそ宝」

安全対策チーム

(鈴木)

〈海外安全情報等入手先アドレス〉

【外務省海外安全相談センター】

03- 3580- 3311 (内線 2901)

【外務省海外危険情報】

<http://www.mofa.go.jp/mofaj/toko/iinfo/joho/index.html>

【外務省渡航関連情報】

<http://www.mofa.go.jp/mofaj/toko/>

【主要国渡航情報 HP アドレス】

アメリカ http://www.travel.state.gov/travel_war_nings.html

イギリス <http://193.114.50.10/travel>

フランス

<http://www.dfae.diplomatie.fr/voyageurs/etrangers/avis/conseils/default2.asp>

【国際協力機構・24 時間安全対策体制】

平日昼間 ☎ 03- 5352- 5443・5433・5437・5528 FAX 03- 5352- 5529

夜間・休日 ☎ FAX 03- 5352- 8636 携帯 090- 2450- 3287

第1 JICA関係者の退避事案と犯罪被害実態

1 緊急事態発生時の対応

(1) 退避の態様

① 国外退避

② 国内退避

③ 自宅待機

(2) 緊急事態発生時の対応要領

① 平素の心構え

- 連絡網の確認と通信手段の確保
- 避難場所、避難ルートの把握・確認
- 生活必需品の備蓄(1週間～10日分程度)
- 自己の所在を常に明らかにしておく

② 発生時の対応

- 安否報告を迅速に行なう
 - ・緊急事態とみられる事案の発生を知ったら自ら事務所へ安否報告する。
- 情報の入手、伝達方法を誤らない。
 - ・現認情報と伝聞情報・・区別して報告する。
 - ・縦の情報と横の情報・・連絡網の末端者が未確認情報を横に流すのが問題
- 決定事項には従う。
- 任国内・外旅行中、所在を明確にして連絡手段を確保する。

2 JICA関係者の犯罪被害実態

(1) 18年度の被害発生数

82か国 585人(JICA関係者全体の被害遭遇率9.4人に1人の割合)

◎被害遭遇率

	全 体	アジア	アフリカ	中南米	大洋州	中近東	欧 州
全 体	9.4人	14.8人	7.5人	6.2人	9.1人	24.9人	8.9人
協力隊員	6.3人	7.7人	6.4人	4.3人	8.4人	22.3人	6.8人
シニア	10.5人	13.4人	3.9人	10.3人	9.4人	16.5人	1.0人

※ 表の見方・・(例)アフリカ協力隊員6.4人に1人の割合で被害に遭遇

(2) 被害多発地域

中南米、アフリカで多発、次いでアジア、大洋州が多く、欧州、中近東地域は少な

(3) 多発被害

「すり」、「空巢」、「強盗」、「かっぱらい」「ひったくり」「忍び込み」の順

(4) 最近の特徴

- ① 年々増加傾向にあった協力隊員、シニアボランティアの被害は減少している。
- ② アジア、アフリカ、中南米地域で被害が増加し、大洋州地域で減少している。
- ③ 強盗被害が増加し、中でも銃器使用被害が過去6年間で最も多く22件発生し、半数は例年被害の多い中南米地域で発生しているが、アフリカ地域での被害が増加している。
- ④ 性的犯罪被害が依然として散発的に発生している。
- ⑤ 注意不足による被害が多く、被害の7割は防犯意識があれば防止できる。

- 特に、注意不足による「すり被害」が増加し、被害の9割は防止可能である。
- ⑥ 安全と言われている国で重大な被害が発生している。
 - ⑦ 在外経験のあるリピーターの「慣れと油断」からくる重大被害が増加傾向にある。

第2 マダガスカルの犯罪被害実態(過去5年間の統計から)

(配布資料「マダガスカルの犯罪被害実態と対策」を参照)

1 被害実態

2 関係者のマダガスカルでの犯罪被害

3 罪種別の被害内容

第3 安全対策の基本

1 自助自救(セルフ・ディフェンス)

(1) 自分の安全は基本的には自分で守る。

(2) 日本的防犯感覚では甘い。～海外で生活していることを忘れるな～

2 無抵抗主義

(1) 価値判断を誤らない。

○ 「物」を盗らせて「命」を守る。

JICA 関係者に向けた犯罪は9割9分が財物を狙った犯罪である。

「無抵抗の真意」・・・命を守るために無抵抗であれ

(2) 複数犯による犯行が殆どである。

○ 単独犯による犯行は少なく、犯罪敢行時には必ず周囲に仲間がいる。

(3) 「積極的抵抗」と「消極的抵抗」

○ 「積極的抵抗」・・・積極的に相手に立ち向かう抵抗

○ 「消極的抵抗」・・・相手の意のままに動かない抵抗

～自分には抵抗と思えないことも相手にとっては抵抗となる～

3 情報入手と共有化

(1) 治安・犯罪情報に関心をもって情報入手に努める。

○ 事務所、大使館等の関係機関だけでなく、近隣や派遣先からも

○ 地方居住者も配属先の上司、同僚、大家、出入商店等から

(2) 全関係者が情報を共有する。

- 被害報告書の提出 ○ グループ討議
- 情報の伝達(伝達媒体、伝達方法)

4 危機管理意識の持続

(1) 時間の経過に伴う「風化防止」

～着任6か月後から被害に遭遇する率が高くなる～

(2) 慣れ・自意識過剰による「風化防止」

～「現地人化すれば大丈夫」は甘い、「服装、態度を現地人化しても顔は日本人」～

第4 性犯罪被害防止対策

1 任国の社会事情や慣習を正しく理解する。

2 女性側にも一因があることが多い。

- 無意識の挑発を慎む ○ むやみに笑顔を振りまくのは危険

第5 任国外旅行時の留意点

1 旅行計画を吟味する。

2 旅行先事務所への到着報告を励行する

3 旅行変更時は必ず旅行先事務所へ連絡する。

4 旅行先での犯罪被害防止に努める。

第7 その他

1 「振り込め詐欺」被害防止

2 交通事故防止

【メモ】

マダガスカル 安全の手引き

—あなたと相手の命を守るために—

2005 年 7 月

JICA マダガスカル事務所

1. 犯罪発生状況、防犯対策

(1) 犯罪発生状況

マダガスカルでは、首都アンタナナリボだけでなく、主要地方都市においても、拳銃等で武装したグループによる銀行・商店等の襲撃、民家に押入ったの強盗殺人、身代金目当ての誘拐事件（主に子女を誘拐）等の凶悪犯罪が頻発しています。

また、窃盗、引ったくり、置き引き、車上狙い、スリ等の一般犯罪も多く発生しており、人口の多い都市部だけでなく、観光地においても、外国人観光客が多く犯罪被害に遭っています。

(2) 日本人の被害例

犯罪の標的となるのは、裕福な外国人が多く、日本人も個人、法人を問わず標的になりやすい状況にあると言えます。

滞在中の日本人が被害にあった事例として、引ったくり、食事中の置き引き、住居敷地内への泥棒の侵入、使用人の手引きによる窃盗被害、拳銃を突きつけられての強盗などが挙げられます。

また、各空港到着ロビーには、単独の旅行者に近づき、安い料金で交通・宿泊を斡旋するとして、治安の悪い地区にある安ホテルに案内する者が言い寄ってくる場合がありますので十分注意してください。

(3) 犯罪被害危険地域

首都のアンタナナリボ市内では、イスチィ、アンダバマンバ、アノシベ、アナラケリ、ツァラララナの各地区及び街中の階段（特に、通称エスカリエ・アンタナナレニナ、通称エスカリエ・アンボンジョナ：大統領府前から下り、独立大通りを交差して反対側に登る階段）において、強盗、麻薬犯罪等が多く発生しています。

また、上記各地区以外でも、市場、ディスコ、バスの車内等雑踏の多い場所は窃盗、スリ、引ったくりに遭遇する危険があります。外国人が多く訪れる観光地の繁華街をはじめ、各地方都市でも首都と同様の各種犯罪が発生しています。

(4) 防犯対策

強盗犯、窃盗犯等に抵抗したり、金品の要求を拒んだりすると、時として犯人が逆上し、何らかの危害を受ける可能性があります。

市場、ディスコ、乗合バス等、大勢の人が集まる場所では、スリ、引ったくり等の犯罪が多発しているのです。なるべく立ち入らない方が賢明です。もし立ち入る場合には、その場所の事情に詳しい現地の人と一緒に行動する方がよいでしょう。標的となりやすい装飾品は身に付けないようにし、バッグ類は、常に体の前に抱える等の注意が必要です。

ポケットに手を入れられたり、上着、バッグの肩掛け紐等をナイフで切られることもありますので十分注意してください。

タクシーを利用する場合、運転手が他の客を便乗させることがしばしばあります。便乗者が強盗を働く事件も発生しておりますので、タクシーに乗車中は他の客を便乗させないようにしてください。

昼間から飲酒し街頭でたむろし、徘徊し、また、外国人をつけ回す者もいるので自分の付近の人物の行動に注意を払ってください。

夜間の外出は可能な限り避けてください。

市内の階段のように、人気がなく、両側に壁がある狭い小道は、逃げ道がないため、強盗が発生しやすい状況です。夜間に限らず、日中でも単独で歩くのは避けた方がよいでしょう。

2. 査証、出入国管理

(1) 査証

マダガスカル入国には査証の取得が必要です。短期滞在査証のみは、入国時に空港で査証を取得することもできます（滞在期間最長3ヶ月、発給手数料約30ユーロ：滞在期間による）。可能な限り事前に取得しておくことが望まれます。

また、観光目的以外の滞在査証の取得には、滞在目的によって必要書類が異なります。無犯罪証明（日本の警察証明にあたるもの）が必要となる場合もありますので、観光目的以外の渡航に際しては、予め時間的な余裕を十分もって日本にあるマダガスカル大使館（連絡先：03-3446-7252/7254）にお問い合わせ下さい。

(2) 出入国審査

入国時は、旅券（査証付き、及び有効残存期間が6ヶ月以上あること）の他、入国カードの提出、往復航空券の提示が必要です。復路の航空券を所持していない場合は、入国を拒否されることがあります。入国カードは通常、航空機機内で配布されますが、配布されない場合もありますので、その際は、入国審査ゲート前に備え付けられている入国カードに記入した上で入国審査を受ける必要があります。

過去に黄熱病、コレラの汚染地域を訪問したことがある入国者は、入国（トランジットを含む）の際に、予防接種証明（イエローカード等）の提示が必要となります。

国内の空港によっては、入国審査窓口と検疫窓口が隣接しており、入国審査時に提示した旅券と出国のための航空券のうち、旅券のみ入国審査官から直接検疫官に渡されます。航空券は入国審査官から返却され、旅券は検疫官から返却されることとなり、旅券や航空券の紛失の原因となっています。

提示した物を全て受け取るよう十分ご注意ください。

学術調査及びテレビ撮影（取材）などの目的で入国する場合には、事前にマダガスカルの各管轄官庁の許可を得る必要があります。

（3） 外貨申告

7500ユーロ相当以上の外貨を持ち込む場合には、申告が必要です。

また、出入国時における、持込み／持出しが可能な現地通貨（アリアリ：Ariary:Ar 及びマダガスカル・フラン：FMG）額は最高 400,000Ariary (=2,000,000FMG) です。それ以上の金額を持ち込み／持ち出そうとした場合は没収されます。

現地通貨については、下記3.（6）「通貨に関する注意」をご覧ください。

（4） 通関

タバコ2カートン、酒類2リットル（瓶は2本）までは無税で持ち込みが可能です。

恐竜の化石、ワニ・海亀の剥製、未加工の貴石、パリサンドラ等の高級木材は持出禁止品目です。土産物で輸出申告書が必要な物（アンモナイトの化石の加工品等）は、購入時に店で作成してもらう必要があります。

なお、市内の市場では、持ち出し禁止品目と知りながら、マダガスカル固有種原猿類、亀、カメレオン等を観光客に売りつけることが多々ありますので、購入しないようにして下さい。これらは、売買行為自体も禁止されています。

3. 滞在時の留意事項

- (1) 滞在査証の延長は、内務省に申請する必要がありますが、通常、短期滞在査証（最大3か月有効）の延長はできません。

なお、法律により、海外からの滞在者は、「合法的に滞在を照明する証」を有していなければなりません。パスポートなど身分証明書を所持していないことが発覚した場合には、不法滞在者として公安当局に連行される可能性もあります。

したがって、滞在の短期長期に関わらずマダガスカル滞在中は身分証明書（パスポート、カルトブルー等）を常時携帯してください。

- (2) 最近では、滞在期間の延長手続きを代行すると持ちかけ、高額な料金を取って偽の滞在許可を作成する業者も現れておりますので、絶対に利用しないようにしてください。

(3) 旅行制限

外国人の旅行が禁止、又は制限されている場所はありませんが、国立公園や自然保護区を訪問する場合には、保護地域管理協会（ANGAP : Association Nationale pour la Gestion des Aires Protegees）からの許可が必要です。窓口は、通常各国立公園等の入口にあります。

(4) 写真撮影の制限

大統領府、空港、港湾、軍事基地（駐屯地）等は撮影が禁止されています。また、マダガスカル国旗を掲げた建物も、政府関係機関の建物ですので、撮影を避けた方が無難です。取材等で撮影をする必要がある場合は、事前の許可を取得する必要がありますので、入国の約3か月前までに日本にあるマダガスカル大使館に申請してください。

マダガスカルの慣習上、王族の墳墓等の撮影は禁止されています。また、地方の民族によっては写真を撮られることを嫌う部族もあるので、トラブルを避けるためにも注意する必要があります。

撮影の禁止又は、制限に違反した場合の刑罰は、罰金、カメラ・フィルム等の没収の対象となります。

(5) 各種取締り法規

(イ) 麻薬

麻薬所持の刑罰は、懲役、罰金等の刑罰が課せられます。

マダガスカルでは、麻薬に類する植物が自生している場所があり、特に地方において、これらを手に入れることは比較的容易です。噛みタバコのような素性のわからない植物を勧められても絶対に口にしないことが肝要です。

また、近年、当局の麻薬取り締まりは強化されており、国内各地で憲兵隊による検問が実施されています。

(ロ) 不法就労

外国人の就労許可申請には、雇用主との契約書、無犯罪証明（日本の警察証明にあたるもの）等が必要ですが、許可取得までに長期間を要します。

不法就労が摘発された場合には、国外追放となります。

(ハ) 治安維持

外国人が、新聞、テレビ、ラジオ等を通じて政治的意見を発表することや、スパイ行為は、禁止されています。そのような、治安維持上違法と認められる活動を行った場合の刑罰は、国外追放、懲役、罰金に処せられます。

外出禁止令が発令された場合には、マダガスカルから出国できないことがあります。

(ニ) その他

(a) 両替は、銀行、両替商、ホテル等の認可された場所において行ってください。空港等で闇両替商が勧誘してくることがありますが、絶対に利用しないで下さい。

(b) 繁華街（特にディスコ周辺）では、売春婦が近づいてくることが多いので注意してください。

(c) 外国人が違法行為を行って罰金刑を科せられた場合、その罰金額は非

常に高額です。罰金が支払えない場合には懲役刑となります。

(d) マダガスカル国内において、犯罪に関与した場合など、訴訟に関与すると、司法手続き終了まで相当の期間未決状態のまま拘留されることがあります。

(6) 交通事情

マダガスカルの交通マナーは劣悪で、ドライバーは自己中心的に好き勝手な運転をしています。また、歩行者は、自動車交通量の多い道路を、車の間を縫うように好き勝手に横断し、交通事故も頻発していますので、マダガスカルでの自動車運転は可能な限り避ける方が賢明です。

マダガスカルでは、車輦は右側通行です。各地の道路は幅が狭く、舗装状況もあまり良くありません。雨季には、道路が冠水したり、地盤が流失することもあります。

首都のアンタナナリボでは、坂道が多く、狭い道路が複雑に入り組んでいます。また、街中の至る路上に駐車車両があり、更に通行が困難になっています。標識のない一方通行が多い上、交差点ごとに優先道路が違ってしますので、外国人が自動車を運転するのは非常に困難です。

バス（タクシールース、タクシーベ）等に乗る場合には、車両の整備状況（特にタイヤの溝が磨耗していないもの）、あるいは運転手の状況（酔っていないか、寝不足の顔をしていないか等）に注意してください。

また、万が一の交通事故を最小限度に抑えるため、①乗車中は居眠りしない、②カーブの多い路線では、前座席をしっかりとつかむ（転倒時の車外放出防止）など自己防衛に心がけてください。

また、地方においては人力車（プスプス）が一般的ですが、一般車道を通行するため、自動車の追突事故等の恐れもあり、利用に当たっては細心の注意が必要です。

(7) 通貨に関する注意

(イ) 現在、マダガスカルは通貨単位の移行時期にあたり、従来のマダガスカルフラン（FMG：現地では「フラン」と呼ぶことが多い）に加え、アリアリ（A r i a r y : Ar）という新通貨単位が存在しています（1 A r i a r y = 5 F M G）。

(ロ) このため、国内ではFMG表記の紙幣とA r i a r y 表記の紙幣が同時に流通しており、商店等の価格もFMGとA r i a r y の双方の単位で表示されています。

(ハ) 2005年6月現在では、10,000A r i a r y (50,000FMGに相当：新規の額面)、5,000A r i a r y (25,000FMGに相当)及び2,000A r i a r y (10,000FMGに相当)、1,000A r i a r y (5,000FMGに相当)、500A r i a r y (2,500FMGに相当)、200A r i a r y (1,000FMGに相当)、100A r i a r y (500FMGに相当)といった7種類の新紙幣、及び小額のコインが発行されています。

(ニ) 上記の新紙幣の発行により、現在流通しているFMG紙幣(5,000FMG、1,000FMG、500FMGの3種類)は、2005年12月31日まで使用することができますが、それ以降はマダガスカル国内での各金融機関窓口にて新アリアリ紙幣と交換する必要があります。

(ホ) このように同じ価値の2種類の紙幣が流通しておりますので、支払い時には、請求されている通貨単位がFMGなのか、A r i a r y (Ar)なのかを十分確かめて支払う必要があります。

(ヘ) 新・旧紙幣の対照は次のとおりです。

新 (Ariary)	旧 (FMG)
10,000A r i a r y	なし
5,000A r i a r y	なし
2,000A r i a r y	なし
1,000A r i a r y	= 5,000FMG※
500A r i a r y	= 1,000FMG※
200A r i a r y	なし
100A r i a r y	= 500FMG※

(※は2005年12月31日以降要交換)

4. 風俗、習慣、健康等

(1) 衛生事情

水道水、生野菜、果物（イチゴなど特に果皮のないもの）、肉、鮮魚等は、感染症、寄生虫症の問題があるため、直接の飲食は避けるようおすすめします。飲料水は市販のミネラルウォーターを利用し、生ものは十分に火を通す必要があります。市場や街頭の露店で販売されている食品、菓子等は、火が十分に通っていても、色々な人の手に触れていますので、食べないほうが賢明です。

また、地域によっては、市内各所のゴミの回収が滞っていることが多く、ゴミ集積所付近はゴミが散乱して不衛生であり、伝染病の発生源となっています。

（２） 病気

（イ） マダガスカルは、WHOが指定しているマラリア汚染地域です。

熱帯気候の沿岸部では、1年を通じてマラリアに罹患する可能性があります。

また、近年、沿岸部と中央高地の交通が発達したことから、比較的安全といわれているアンタナナリボでも、マラリアの発症例が報告されており、十分な注意が必要です。

マラリアに関する注意事項は次のとおりです。

- ・ マラリアはマラリア原虫が体内に侵入することにより感染する。
- ・ 初期症状は、発熱、頭痛、悪寒戦慄、発汗等である。熱帯熱マラリアに感染すると、黄疸、腎不全、血液凝固異常が現れ、脳性マラリア症状を経て死に至ることがある。また、日本人はマラリア原虫に対する免疫を持たないため、現地人に比較して重症化する傾向がある（マダガスカルでは、80～90%が熱帯熱マラリアである）。
- ・ 予防としては、先ずハマダラカに刺されないようにするため、長袖、長ズボンを着用して可能な限り肌の露出を少なくし、忌避剤の塗布、蚊取り線香や蚊帳を使用する。また、ハマダラカの活動が活発になる夜間の外出を控える。なお、予防薬の内服は専門医に相談すること。
- ・ 熱帯熱マラリアの潜伏期間は、一般的に約1週間から2週間かとされている。但し、6ヶ月ないし1年経過後発症したという報告

もあり、日本に帰国してから発症することも十分に考えられる。また、三日熱マラリアや卵形マラリアは、症状がなくなっても、数年後に再発することがある。

(ロ) マダガスカルでは、時にペストが流行することがあります。

2003年の1年間に323名の感染が確認され、2004年も10月までに186名の感染が報告されています。2004年2月、首都アンタナナリボ市で7名が、また10月にはアンバトンドラザカ付近で6名がペストで死亡したと報道されています。(死亡例は主に肺ペスト)

肺ペストは患者の咳等により病原菌が拡散されます。不衛生な市場等へ立ち入る場合には十分な注意が必要です。

なお、ペストに関する注意事項は次のとおりです。

- ・ペスト菌はネズミ、ノミによって媒介されるので、ネズミを駆除する薬剤や殺虫剤を住居等に散布する。また、虫除けスプレーなどの薬剤を毎日身体に塗布する。
- ・ペスト菌は患者の咳、痰、膿、糞尿等にも存在するので、患者や死亡者には近づかない。
- ・ペストの症状は、1～7日間の潜伏期の後に、悪寒と共に突然発熱し、全身の倦怠感と筋肉痛の他、特に足の付け根、腋の下、頸部のリンパ腺の腫れ、痛みが特徴である。
- ・肺ペスト患者からは直接肺ペストに感染する。
- ・上記の症状を認めたら、直ちに医師の診察を受け、適切な治療をする。特に肺ペストに感染した疑いがある場合には24時間以内に治療を開始する必要がある。

(ハ) 狂犬病

2003年にアンタナナリボ市近郊で行われた調査によれば、採取見本の野犬のうち約2/3が狂犬病に感染していたとされています。また、2004年8月から10月の間に、マダガスカル国内で、狂犬病により6名の死者が確認されています。狂犬病は犬だけが保菌しているとは限りませんので、野生動物(キツネザル類等)に接する機会の多いマダガスカルでは特に注意が必要です。渡航の前には狂犬病ワクチンの予防接

種をお勧めします。(初回、2週間後、6ヵ月後の合計3回)

狂犬病に関する注意事項は次のとおりです。

- ・ 狂犬病は、感染した動物の唾液に含まれる狂犬病ウイルスが体内に入ることによって感染する。
- ・ 感染から発病までの期間は2週間～8週間といわれるが、摂取されたウイルスの量、咬傷部位によっては発症が早まることがある。
- ・ 初期症状は、頭痛、発熱、不安感、違和感、咬傷部位の知覚異常と放散痛（咬まれた場所を中心にした響くような痛み）がある。
- ・ 一度発症したら、どのような救命措置をとっても必ず死亡すると言われている。
- ・ 発病者の体液（唾液、涙、汗）には多量の狂犬病ウイルスが含まれているので二次感染の可能性が高い。
- ・ 狂犬病を発病した動物は見た目はぐったりとしていることが多いので、介護のつもりで接触することは大変危険である。
- ・ 狂犬病予防接種を受けていても、狂犬病に感染した疑いのある場合には、24時間以内にワクチンを接種する必要がある。予防接種を受けていない場合には事後の治療（ワクチン投与）に相当の長期間を要する（約3ヶ月）。

(二) その他、注意すべき病気としては、マラリア以外の寄生虫感染症、細菌性下痢症、破傷風、A型肝炎、B型肝炎、腸チフス、性感染症（エイズ等）等があります。

(3) 医療事情

首都のアンタナナリボには、比較的設備の整った病院がありますが、高度な医療は期待できません。また、医薬品も十分に揃っているとは言えません。

地方都市においては、総合病院の数も少なく、十分な治療を受けることはできません。万が一の怪我や病気の際には、首都の病院での治療が必要となる場合が多いです。

また、手術が必要な場合等、怪我・疾病の状態によっては、近隣の国（南アフリカ、仏領レユニオンその他）又は先進国への移送が必要となりますので、緊急移送（エバキューエーション）サービスを包括した海外旅行傷害保険等へ加入しておく必要があります。

5. 緊急時の連絡先

- (1) 警察 TEL : 17
- (2) 救急 TEL : 17
- (3) 消防 TEL : 18
- (4) 在マダガスカル日本国大使館 TEL : 22-261-02（アンタナナリボ市）
- (5) JICA マダガスカル事務所 TEL : 22-594-10（アンタナナリボ市）

（注意）本資料は、在マダガスカル国日本大使館で作成した「マダガスカル安全対策基礎データ」をもとに、JICA マダガスカル事務所で一部加筆修正したものです。なお、現地通貨のレート等記載事項は随時変わることがありますので、滞在にあたっては、最新の情報を入手するようご注意願います。

（参考）2005年6月30日現在の交換レート（現地銀行中間レート）：

1 \$ = 2019.33Ar、1 ¥ = 18.29Ar

JICA 緊急連絡網に係る留意事項

緊急連絡を受けたときの注意

1. 記録用紙は緊急連絡網とセットで保管。
2. 聞いた内容は必ず復唱。
3. 事実のみ次の人に伝える。
(自己解釈しない、文章を省略しない、他ごとを話さない)
4. 時間を必ず記録。
5. すぐに次の人に連絡 (不在者がいた場合は、とばして次の人に連絡)。
6. 不在者へは、その後にもう一度トライし、それでも不在のときは、JICA 担当者に報告。
7. 最終報告者は、聞いた内容も必ず JICA 担当者に報告 (伝達事項の周知再確認)。
8. 逆連絡があったときは、内容が一致した人が JICA 担当者にすぐ連絡。

日常の注意

9. 事件があったら、自ら JICA 事務所に連絡。
10. 公私にかかわらず、国内移動の事前連絡を徹底。
(特に電話の通じない地域に入る場合)
11. 無線隊員は、夕刻 (17:30~17:40) の電源 ON は厳守 (緊急時の命綱)。
12. プリペイド式携帯電話は、予備カード (5000Ar 分等) を常備。

年 月 日 ()

氏 名 :

JICA 緊急連絡網・記録用紙

(本用紙は後で提出をお願いすることがありますので、正確に記録してください)

受信日時	年 月 日 () 午前・午後 時 分
相手の氏名	
相手の電話番号	(携帯・固定・無線)
用件の種類	1. 安否確認 2. 注意喚起 3. 情報伝達 4. その他 (具体的に :)
伝達事項	① ② ③ ④ ⑤ ⑥

(次の人への情報)

連絡をした人	
連絡をした電話番号	
交信を終えた日時	年 月 日 () 午前・午後 時 分

(不在者の情報)

不在だった人	なし・あり (不在者名 :)
連絡を試みた回数	

(備 考 : その他、気づいた点など)

--